

社協たより

第172号

2016.12.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
e-mail:nogatashakyo@fuga.ocn.ne.jp HP:http://www.nogatashakyo.org/



人権週間に向けて
直方第1中の
生徒が描いた
ポスターです。

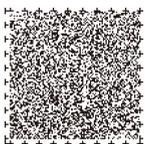
もくじ

- 不登校・ひきこもり研修会 2
- 地域の輪 (障がい者の居場所づくり実行委員会)
情報の広場 (市老連大会開催・認知症相談)
図書室 (『平穏死』を受け入れるレッスン) 3
- お知らせ (もちつき会開催・ヘルパー募集・前号の訂正
熊本地震義援金・歳末見舞品について)
ご寄付 4

無関心になら
ないように、留
意していきたい
と思います。

(藤田)

同週間の28年度は「考えよ
う相手の気持ち、未来へ繋げ
よう違いを認め合う心」との
啓発目標を掲げています。い
つもそういう思いやりの心と
自分の事として



kantera

カンテラ



人権週間

人権尊重思想の普及高揚を
図るため、毎年12月4日～10
日を「人権週間」としています。
国連で、12月10日の世界人権
宣言の採択日を入権デーとし
た事を記念して制定されまし
た。

多岐にわたる人権問題で、
障害者も根深い問題はありま
す。とはいうものの、事故で障
害者になった私の場合で思い
巡らすと、適切な治療とリハ
ビリ、福祉施策、何より人々の
温かな心のおかげで、地域で
張りのある生活が送られていま
す。その根底には、憲法を始め、
人権を尊重する社会であるか
らこそだと、人権の大切さが
身にしみました。

この社協たよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

不登校・ひきこもり研修会

元ひきこもり当事者が 7年の経験と今を語る

元不登校・引きこもり経験者
福岡市こども総合相談センター職員
三村 吉郎 氏

平成28年9月24日、直方市総合福祉センターにて講演をさせていただきました。



←講師の三村さん

○家庭内暴力とトラウマ

小さいころは内気で、人と話すことが苦手で、何でも我慢して人に言わない子どもでした。3歳前後の頃から、父親が母親を怒鳴ったり、殴ったりする家庭内暴力があり、人の怒鳴り声や怒りに恐怖を覚えるようになりました。

小学校高学年のころになると、同じクラスの生徒から嫌がらせを受けるようになりました。

中学生になっても嫌がらせは続き、それ以外にも親友と喧嘩してしまったり、体育会系の教員の怒鳴り声に怯えたりして、居づらさを感じていました。

○私の不登校・ひきこもり「包丁を振り上げた」こともありました

ある時風邪をひいて、学校を一週間休んだことがあります。しかし、風邪が治っても学校に行こうとすると体が動かなくなると、学校に行かなくなりました。登校時間になると腹痛が始まり、登校時間を過ぎると痛みが治まるといふ毎日が続いていました。

ひきこもるようになってからは、ひきこもりのストレスを母と妹にあたることで発散していました。初めは黙っていた母と妹も次第に抵抗をするようになり、それに対して包丁を振り上げたこともありました。しかし、包丁を

振り上げた自分に対して、母親が正面から向き合い、いさめてくれたことがきっかけで、荒れていた言動が落ち着き始めました。

ひきこもりたかつた訳ではなく、外に居場所がなくなり、関わりがなくなることで、必然的に居場所が家しかなくなり、ひきこもってしまったのだと思います。

○ひきこもりの脱出について

中学卒業後も進学せずにひきこもりを続けていましたが、母親との会話も少しずつ増え、英会話やパソコンなどの興味があることを通じて、少しずつ外に対する不安が薄れてきました。

20歳の時に初めて居場所活動に参加し、その後アルバイトなどを経験しました。23歳で夜間高校を卒業し、25歳では就職をすることができました。ところが、就職後約2ヶ月後には仕事を辞めてしまいました。退職後に母に話すとして「せめて1年は会社を続けたら」と言われました。しかし、今まで学校に行かないという選択肢を選んできた自分には、その常識的な助言は届きませんでした。最近になって母に当時のことを聞くと、「私は不登校の時も退職した時も同じ過ちを犯してしまっただけに、行きなさいと言ってしまった。」と話してくれました。

○大事な3つの言葉

ひきこもりから脱出するためには、成功体験はもちろん、多少の失敗経験も必要だと思えます。

できることや興味のあることから経験していけば、経験が人を成長させ、変わるきっかけを生んでくれると考ええます。

今私は当時の経験を活かして、福岡市子ども総合相談センターで働いています。「認める・信じる・寄り添う」これをも考えながら仕事をして、子どもと関わっています。

参加者の声 研修会に参加して

人生に失敗はつきものだと思いますが、単なる失敗で終わらせずに、逆に生かして人助けに努力されていることは素晴らしいと思えました。

人を決めつけず、可能性を信じて触れ合う事、自らもその人から学ぶ姿勢を学びました。「生きているという事は人の世話になる事、生きていくという事は人の世話をする事」と習った事がありました。私が「生きていく」毎日になりたいと思えました。

(石黒)

地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

障がい者の居場所づくり実行委員会

フリースペースるーぶる7番地とは、誰でも立ち寄れる場所でした。特別なメニューはなく、仕事や作業所が休みの日や、仕事帰り等に立ち寄って、顔見知りの当事者や支援者と会話や食事を楽しんだりしていました。

私たちがちょっと立ち寄れる場所。唯一のその7番地が、障害者相談支援センターるーぶるの廃止に伴い、今年度からなくなりました。このような状況の中、障害を持つ人を中心に、やっぱり「気楽に立ち寄れる場所がほしい」「当事者やその家族、支援者などが交流する居場所がほしい」と、実行委員会を立ち上げました。毎月集まり話し合っています。場所や具体的な内容等への思いは尽きません。この居場所の実現に向け、



行政をはじめ、多くの方々のお知恵も借りながら、一刻も早く実現したいと願っています。
私たちの思いが結集して叶いますように、ご協力をお願い致します。毎月第1土曜日10時直方市総合福祉センターで実行委員会をしています。参加をお待ちしています。
(田中)

情報広場の場

市老連大会開催

このたび、直方市老人クラブ連合会は、「親睦・交流く老人フェスティバル」―元気に生き生き・おいさらばーのテーマのもとに市老連大会を開催することとなりました。

親睦と交流を目的として、笑いと感動のひとつときを分かち合い、楽しく過ごしていただきたいと願っています。

■日時
平成29年1月9日(月・祝)
10時～16時

■会場
ユメニティのおがた
(直方市大字山部 36414)

■主催
直方市老人クラブ連合会
■後援
直方市
直方市教育委員会
直方文化連盟

認知症相談

認知症に関することや在宅における介護など、一人で悩んでいる方ご相談ください。認知症の人と家族の会直方の会員がご相談を受けます。相談は無料です。

■日時
毎月第4水曜日
13時～16時

■場所
第4水曜日が祝日の場合、第3水曜日
直方市総合福祉センター
(直方市大字山部 6161145)

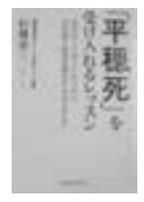
■連絡先
直方市社会福祉協議会
TEL 0949(23)2551



図書室

「平穏死」を受け入れるレッスン

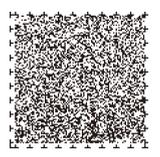
著者 特別養護老人ホーム 芦花ホーム 医師 石飛 幸三
発行所 誠文堂新光社
直方市図書館所蔵



誰もが「最後は苦しまずに死にたい」と思っています。古くは老衰のお年寄り、ふすま一枚、障子一枚隔てた部屋の向こうで臥せていて、家族の気配が感じられる日常の中で静かに息を引き取っていました。そして、みんなから「ああ、大往生だった」と言われて野辺送りをされました。

ところが今、その穏やかな最期を迎えることを阻むものがあります。自分にしてほしくないのに、なぜ親に延命治療をするのですか？意外なことに、これが家族の「情」なのです。そして、老衰をも治さなければならぬという医療への過信です。

老いて死ぬために、人はどうあるべきか。改めて考えてみましょう。
(広田)



歳末見舞品について

—昨年まで、12月に歳末たすけあい募金を使って、70歳以上の独居の方を対象に民生委員を通じてお渡ししていましたが、ゴミ袋の配付を見直すこととしました。

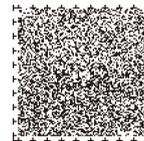
なにとぞご了承のほど
お願い申し上げます。

■ お問い合わせ
直方市社会福祉協議会



もちつき会を開催します

- 日時
平成28年12月18日(日)
9時～13時
- 会場
直方市総合福祉センター駐車場
(直方市山部616-145)
- お問い合わせ
直方市社会福祉協議会



共同募金会 平成28年 熊本地震義援金

平成28年4月14日に熊本地震が発生しました。皆様のご協力により、被災された方々を支援することを目的とする義援金が集まっており、平成28年10月11日時点で直方市では、460,062円が集まっています。募金の締め切りは今年度中までありますので、皆様のご協力をお願いいたします。

- 募集期間
平成28年4月15日～平成29年3月31日
- お問い合わせ
福岡県共同募金会直方市支会

ヘルパー募集

- 資格
 - ・ヘルパー2級以上
 - ・普通自動車免許
- 活動時間
 - ・7時～21時
 - ※勤務時間は相談の上
- お問い合わせ
直方市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス
香月・毛利
☎0949(23)2551
(月～金 8時30分～17時)
※詳細はお問い合わせください。
- 賃金(時給)
 - ・生活援助 (日 中) 1,100円
(早朝夜間) 上記2割増し
 - ・身体介護 (日 中) 1,550円
(早朝夜間) 1,860円
 - ・移動支援(ガイドヘルプ)
(身体有り) 1,400円
(身体無し) 1,260円

前号(第171号)の訂正

前号の図書室のコーナーにて、「島根県境港市育ちの陽気な落第生の少年時代」という記載がありましたが、誤りでした。正しくは「鳥取県境港市育ちの陽気な落第生の少年時代」となります。

直方市役所環境業務課ボランティア同好会の皆様より、福祉まつり出店の売り上げを寄付していただきました。皆様のご好意に感謝し、いただいた寄付金は、社会福祉推進のため、大切にさせていただきます。



共同募金会直方市支会にご寄付いただきました

● 植木 (故) 藤嶋 久
● 植木 (故) 香月 和世
● 下新入 (故) 田村ヒサエ
● 下新入 (故) 河野 信子
● 長崎県 (故) 堀江ヤスノ
● 感田 (故) 伊藤 邦博
● 永満寺 西村 俊一
● 植木 (故) 有吉 桂子
● 上境 岩熊 保子

香典返し寄付金

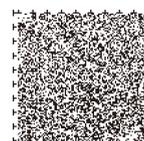


(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

● 上野 (故) 伊藤 謙
● 上野 (故) 伊藤 謙
● 上野 (故) 小笹 次男
● 一般寄付金
● 医療法人 健明会
● 直方市民生委員児童委員協議会 篠原 照行
● 感田 高田 和雄
● ちよこつと手助けえくぼの会

平成28年8月11日から平成28年11月10日
15件 合計金額 385,922円

ご寄付ありがとうございました。



編集後記

今年も残暑が厳しいと言われていたのに、あつという間に秋になってしまいました。気候の変化は確実に訪れるということでしょうか。今年も直方には大きな自然災害はなかったように思いますが、他の地域ではゲリラ豪雨や竜巻など、極端な天候による被害が多発しています。地球温暖化のせいでしょうか？それにしても大自然の前には人間は無力なのだと思わしく感じています。(石黒)

